

## 答申（素案）に対する委員からの意見

No.	委員氏名	答申（素案）に対する意見
1	前 県教育委員 瀬尾 佳彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申（素案）については、おおむね了承。</li> <li>・ 県教育委員会においては、答申の趣旨を踏まえ、高校の望ましい在り方について、早期に具体的な検討を行ってほしい。</li> </ul>
2	仁愛大学教授 橋詰 武宏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申（素案）については、おおむね了承。</li> <li>・ 拠点校の設置が提案されているが、15～16歳くらいの年代において、はっきりした将来の目標や進路を決定することは難しいと思われる。高校においては、ある程度、生徒に余裕を持たせた、柔軟な教育体制が必要であると考えます。</li> <li>・ 職業系専門学科においては、若い人達が興味を持てる学習内容を検討すべき。</li> <li>・ 工業系の学科への女性の進学希望を高めるため、ファッション、デザイン関係の科目を充実させたらどうか。</li> </ul>
3	静岡大学教授 山崎 保寿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申（素案）については、おおむね了承。</li> <li>・ 10ページの4パラグラフ中、「きめ細やかな学習指導を行うとともに」とあるが、総合産業高校においては、科目選択が重要であるため、「きめ細やかな学習指導および科目選択の指導」と記載したらどうか。</li> <li>・ 総合産業高校は、複数の異なる専門学科を設置するため、どうしても専門性は薄くなる。このため、拠点校と総合産業高校間において教員の人事交流を活発に行うなど、拠点校での研究成果等を各高校においても共有できるような配慮が必要。</li> </ul>